

日本免震構造協会関係各位

JSSI NOW No.007 2019/02 日本免震構造協会ニュース No.007

日本免震構造協会：<http://www.jssi.or.jp/>

本メールは、当協会会員、役職員、協会関連各位に送付しております。

■協会ホームページ会員専用ページへのログイン方法の変更について

会員専用ページについて、以前はIDとパスワードは1種類のみで、忘れると入れなくなる不便がありました。今回の変更は、ログイン時に会員であるかを自動識別し、会員であれば登録アドレス宛にメール送信があり、各個人がパスワードを設定するしくみとしております。パスワードを忘れた場合は、未登録から入り、再度パスワードを設定できます。企業会員、個人会員の皆様は、一度「会員専用」をクリックしてみてください。

<http://www.jssi.or.jp/>

■オイルダンパー問題に係る委員会の活動について

この度のオイルダンパーに係る性能値の書き換え問題について、当協会として迅速な対応を行うため、「免震・制振材料問題対応委員会」を設置した旨前報告させて頂きました。昨年度より委員会及び部会を開催し活発な議論を行っております。まだ今回の事案の全貌（データ判明と不明等の仕訳）が明確になっておりませんが、今後委員会活動の状況について随時お知らせいたします。

■2018年度（第11回）「免震構造・制振構造に関わる優秀修士論文賞」応募論文の募集

当協会では、毎年標記の表彰を行っており、今年度で11回となります。免震構造・制振構造について多くの研究がなされることを期待しております。締切3月20日（水）となっております。数多くの応募をお待ちしております。詳細は下記URLにてご確認下さい。

http://www.jssi.or.jp/bussiness/hyoushou_detail/2018m_paper.htm

■平成30年度住宅建築技術国際展開支援事業の中間報告

当協会では、国土交通省補助事業として平成30年度は、下記の事業を実施致しましたので、中間報告を致します。

○第10回全国地震工学会議（上海：中国）への参加

中国では、四川大地震から10周年を迎えた昨年8月22日～25日に標記が開催されました。8月23日（木）午後に当協会主催の中日免震技術分科会を設け、日本側は3名、中国側は2名が講演を行いました。日本側からは免震技術の最近の開発動向、免震構造の設計・施工・維持管理、免震建物の設計例を報告、中国側からは免震技術と応用及び設計仕様、現在建設中の新北京空港の紹介がありました。

○アルマトイ：カザフスタン耐震ワークショップ

平成 30 年 9 月 17 日～19 日の 3 日間、アルマトイにおいて耐震ワークショップを開催しました。カザフスタン共和国の南方に位置する旧首都アルマトイは、天山山脈の麓に位置する風光明媚な都市ですが、過去に大地震が発生しています。今回の耐震ワークショップでは、日本側から 7 名が日本の防災関係規準、免震制振技術、免震部材、設計例、施工について講演し、カザフスタン側から 3 名が斜面地の安定、耐震基準、振動試験などの報告がありました。

○日中免震・制振技術交流会（北京：中国）

平成 30 年 10 月 22 日～24 日北京にて日中免震・制振技術交流会を開催しました。中国では免震建物の棟数が日本よりも多く、昆明空港や新北京空港ターミナルビルは、大規模な免震構造となっています。日本からは、国土交通省住宅局より国際関係分析官および当協会からは会長以下 7 名が出席し、日本の建築基準の防災関係規定、日本の最新の免震の状況と耐震・免震・制振の考え方、日本の PCa 構造の現状、日本の免震構造設計基準と免震装置性能、免震部材の原理および応用事例、日本の免震・制振構造の実例、免震建物の施工と維持管理の報告がありました。中国側からは、中国建築標準設計研究院、中国建築科学研究院、北京市建築設計研究院、清華大学、北京建築大学、広州大学、同済大学建築設計研究院など全国各地から出席し、中国免震・制振技術の動向、制震技術の研究・発展および革新、二つ降伏点の座屈拘束ブレースおよび調節できる FPS の開発、空港ビルにおける免震技術の応用、中国免震建物の現状と典型例、新しい「建築免震設計標準」、免震・制振技術の応用と考え方の講演がありました。400 席の会場は、連日満員で、会場のホテルは、全国各地の研究者や技術者で満室でした。中国では多くの免震構造のプロジェクトが動いており、年間 1,000～2000 棟を超えるペースで免震構造が建設されており、その規模の大きさと技術の発展のスピードに圧倒させられました。

○日本トルコ防災シンポジウム（アンカラ市：トルコ）

トルコでは、1939 年 12 月 27 日に発生したエルジンジャン地震で、33,000 人に近い犠牲者があり、その日を防災の日と定められています。国土交通省では、2014 年にトルコ共和国災害緊急事態対策庁（通称「AFAD」）と締結した文書に基づき、防災協働対話ワークショップや両国の民間企業が参加した「日本・トルコ防災協働技術フェア」を開催し、防災分野における協力関係を構築しています。今回、日本とトルコの防災対策の最新動向の共有や民間企業からの免震・耐震技術の紹介などを目的としたセミナーを 12 月 27 日に開催しました。当協会から、基調講演を行う会長を含め 2 名が参加しました。また防災関連企業の展示では日本側 11 社、トルコ側 10 社が展示およびプレゼンテーションを行いました。

○日中免震・制振技術交流会（広州：中国）

平成 31 年 3 月 8 日～9 日の 2 日間、広州市において、広州大学と共催で技術交流会を開催すべく準備中です。

今年度の国際展開事業では、4 か国 5 都市を対象に技術交流会等を開催しました。

■他団体の動向

○国立研究開発法人建築研究所

- ・平成 30 年度建築研究所講演会のご案内
日時：平成 31 年 3 月 1 日 10:30～16:00
場所：有楽町朝日ホール（有楽町マリオン 11 階）
参加費：無料

<https://www.kenken.go.jp/japanese/research/lecture/h30/index.html>

○（公財）東京都中小企業振興公社【助成金情報】

- ・都内中小企業対象の「先進的防災技術実用化支援事業」
- ・説明会開催日時：平成 31 年 3 月 20 日(水), 26 日(火), 4 月 9 日(火), 12 日(金), 18 日(木):10 時～12 時
- ・申請受付予約期間、申請受付期間があります詳細は、下記 HP を参照ください
- ・お問い合わせ：（公財）東京都中小企業振興公社 助成課 先進防災事業担当
TEL：03-3251-7895 E-mail：josei@tokyo-kosha.or.jp

<http://www.tokyo-kosha.or.jp/support/josei/jigyo/bousai.html>

■お知らせ

○日本免震構造協会ニュースについて

日本免震構造協会から「日本免震構造協会ニュース」をお送りしました。
このメールを送ってほしいと思われるご友人などがおりましたら、以下の係にメールアドレスと御氏名をお送りください。

次回から、このニュースを送らないでほしい方の場合にも、以下の係にお知らせください。

日本免震構造協会事務局 jssi@jssi.or.jp

○会員募集について

日本免震構造協会では、会員を募集しております。ご希望の方は下記ご覧ください。

入会のご案内：<http://www.jssi.or.jp/about/detail/ji-6.htm>

以上